2016年度事業報告

2016年4月1日より2017年3月31日

特定非営利活動法人フェア・プラス

2016年度は当初重点取り組みとして、①京都造形芸術大学との新たな取り組み、②マリナオ村の生産者の技能向上、生産環境の改善、③アバカ・ブランドJIUおよびCradle Cradle商品の販売拡大、④作業所製品のノベルティ等への市場開拓を計画していた。

この中で、2016年度に実施した事業は、②マリナオ村の生産者の技能向上、生産環境の改善、③アバカ・ブランドJIUおよびCradle Cradle商品の販売拡大を中心とした取り組みが上げられる。①京都造形芸術大学での選択科目の授業（プロジェクト）は、大学側の都合により今年度見送りとなったが、代わって京都大学フェアトレードチーム「まなびやハチドリ」との連携による、one world festival for youthへのブース出展、ワークショップの開催を行った。詳細は、以下の通り。

1. 基盤整備
2. 事務局体制

事務局長（常勤）、経理担当スタッフ（非常勤）で日常業務を行うとともに、ツキイチカフェなどイベントの運営、および新商品開発はボランティアやプロのデザイナーの協力を得て進めてきた。

1. 啓発活動事業

実施日時：　通年　　　　　　　　　　会場：東山いきいき市民活動センター、大阪国際交流会館他

従事者の人数：延べ約40名、　　　対象者：一般市民、京都の大学生、関西の高校生

京都造形大学生、作業所職員、および市民、NPO団体、企業の関係者　　　　　　　　　　　事業費の金額：　176千円

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

1. ツキイチカフェの継続、会員同士のツキイチカフェ・スピンオフ会の開催とドキュメンタリー映画上映会実行委員会の立ち上げ

4月9日　榛木　恵子（NPO法人関西NGO協議会　事務局長代行）

　　　　　「NGOの仕事、市民活動のボランティア。山あり谷ありです。」

5月7日　上野山　裕久（NPO法人京都難病支援パッショーネ理事長）

　　　　　「『マンガで綴る難病な日々』~制度、生活、就労～」

6月4日　河合　隆（京都西陣会　理事長）

「障害者の真の社会参加とは？」

　7月9日　河合将生（NPO組織基盤強化コンサルタントoffice musubime代表）

「NPOやNGOの家庭教師の仕事とは？仕事内容と魅力、関わっているNPOやNGOについて」

　　8月20日　浦田　雅夫（京都造形芸術大学こども芸術学科准教授、アフターケアの会メヌエット事務局）　「社会的養護ってなんでっか？」

　　9月10日　廣瀬　昌代（キッズファーム in 大原　代表）

　　　　　　　「未来を耕す。子達と共に」

10月8日　小吹　岳志 （フェアトレード・サマサマ事務局長、オイコクレジット・ジャパン事務局長）

「『風に立つライオン』になれなくても、できることから始めよう」

11月12日　小谷　智恵（アレルギーネットワーク京都ぴいちゃんねっと事務局長）

「『食物アレルギー』ってかわいそう？」

12月3日　兵田　大和（食育ジビエアドバイザー、洛北猟友会役員）

「狩猟の持続可能性を求めて」

1月14日　河西　実（NPO法人フェア・プラス　常務理事・事務局長）

「フェアトレードと障害者問題への取り組みを考える」

2月4日　杉山　遼（NPO法人アクセス-共生社会をめざす地球市民の会　理事、京都府立八幡支援学校　中学部教務部長）

「知るところから始まる　協力・共生」～フィリピン・スモーキーマウンテンの子供たちへの支援と日本の障害児への支援を通じて～

3月4日　大塚　茜（NPO法人和～なごみ～　理事長）

「災害時の広域避難を考える～東日本大震災避難者支援の現場から～」

　〔スピンオフ会メンバーによる新規企画〕

　　スピンオフ会メンバーにより実行委員会を立ち上げ、精神障害者ドキュメンタリー映画「あいー精神障害と向きあって」の京都上映会開催を4月16日ひとまち交流館大会議室で行うべく準備を進めた。

1. フィリピン・ツアーの実施

デザイナー井澤　葉子氏に、12月28日～1月3日マリナオを訪問して頂き、新商品開発のデザイン、試作について打ち合わせを行う。

1. 京都大学フェアトレードチーム「まなびやハチドリ」との連携

京都大学「まなびやハチドリ」と連携し、またツキイチカフェ運営の学生ボランティアも参加して、高校生向けイベントone world festival for youthにブース出展、ワークショップ「貿易ゲームadvance」を開催。

1. マスコミへの情報発信（服飾関係雑誌社を含む）

5月20日　「美しいキモノ夏号」　グラビア紹介（アバカ・クラッチバッグおよび

pinoiバッグ）

5月28日　毎日新聞　「Cradle Cradle展示発表会」

3月6日　京都新聞　「ツキイチカフェ：大塚茜（NPO法人なごみ）」（震災特集）

1. 作業所製品販売事業

実施日時：通年　　　　　　　　　実施会場：京都デザインハウス、梅田ルクアなど

従事者の人数：延べ 約20名、　　　対象者：デザイナー、一般市民　企業関係者など

事業費の金額：　1,078千円

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

1. 西陣工房にて製作する京組紐のブレスレット（ブランドAKE）の新規取引先開拓

* 京都デザインハウスとの取引を7月より開始
* ゼロコネクションとの取引を2月より開始

1. 第三かめおか作業所にて製造する安納芋のスイーツの販売継続

* 安納芋のシフォンケーキの販売を継続。取引先の蜜香屋は、大阪にカフェをオープン、東京吉祥寺に出店する一方、梅田ルクア店を閉店。

1. フェアトレード商品販売事業

実施時期：通年　　実施場所：高島屋、阪急梅田百貨店、フィリピン・マリナオ村など

従事者の人数：延べ　約50名　　　　　　対象者：学生、デザイナー、一般市民、マリナオ村生産者

事業費の金額：　2,303千円

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

1. 新ブランドCradle Cradleの知名度向上と販売先開拓

* 5月25日～29日、ギャラリーMADAMA Kyotoにて展示発表会を開催（来場者52名）
* 京都、大阪のセレクトシップ、フェアトレードショップへの販売
  + シサム工房（京都本店、裏寺通り店、大阪堀江店）、北山アルファベット
  + 百貨店への催事出店：7月27日～8月1日、高島屋洛西店へ出店

1. JIUブランド商品（クラッチバッグ、かごバッグ）の和服・浴衣関係店舗および広告媒体を通じた販売拡大

* 「美しいキモノ」の読者からの直接注文
* 着物関連企業「京都一加」への販売
* 国立民族学博物館：阪急梅田へ出店

1. マリナオ村の生産者の技能向上、生産環境の改善、アバカの苗木植林

* マリナオ村生産者へのマクラメ編みトレーニングの実施
  + 7月～8月および12月、熟練した生産者が他の生産者にマクラメ編みトレーニングを実施。
  + 8月、アバカ商品生産環境の改善のため、卓上ランプ、はさみ、作業台などを各生産者に提供。
* 12月、アバカの苗木の植林と以前植林した土地の整備を実施。

以上